

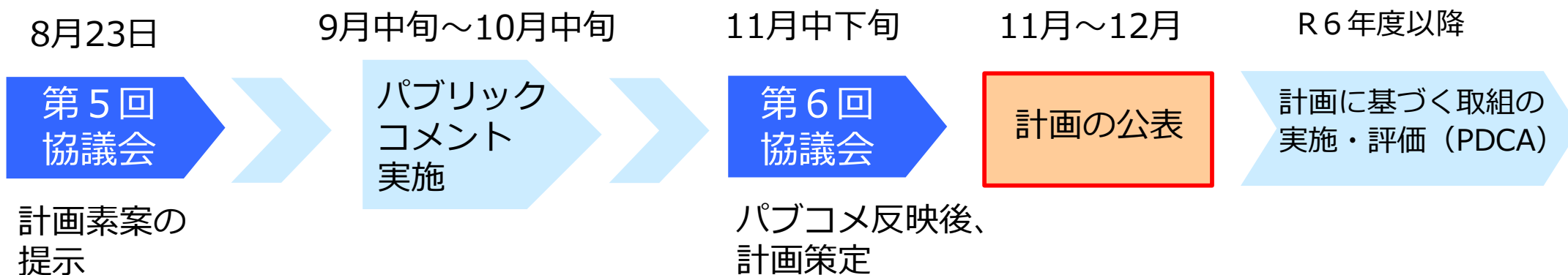
議題

京都市地域公共交通計画の素案について（意見交換）

特に御議論いただきたいポイント

- 目指すまちの姿・公共交通ネットワークの在り方
- 現況・課題を踏まえた目標の実現に向けた取組
- 市民・交通事業者・行政の役割

今後のスケジュール（R5年度）



※山科、洛西、水尾、京北、久多、雲ヶ畑の各部会（地域公共交通会議）
を年1～2回程度開催する。

- まちづくりとの連携が重要。需要の変化を十分に見極めて、交通事業者や地域と協力しながら、取組を進めていただきたい。
- 担い手確保の取組は、相当な覚悟を持って取り組んでいただきたい。
- 公共交通の維持・確保に向けては市民の意識が重要と考える。計画には、市民に温かい目で見守っていただき、公共交通を使うという意識を持っていただけるような記載をしてはどうか。
- 鉄道とバスの役割分担をどうするのか検討する必要がある。行けるところまで鉄道を利用し、その後バスを利用する（鉄道を軸にした）体系が望ましい。
- 市民に公共交通の現状を理解いただく必要がある。地域にどのように協力を依頼し、取組を進めていくのか、財政的な支援も含め検討いただきたい。
- 市民・交通事業者・行政のそれぞれが何をするべきか、具体的に記載するべき。特に、市民の役割が「乗る」になりがちである。